

# 緑化だより

No.56 平成22年11月号



平成20年11月15日 メタセコイアと雲海

お知らせ 11月の休園日はありません。紅葉をごゆっくりお楽しみください。

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 花だより

- 研修会報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこユーモラスネーミング

## 外国編(8) 『Orange peel fungus みかんの皮茸』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“みかんの皮茸”と呼ばれているキノコは、日本では**ヒイロチャワンタケ**のことです。誰かがむいたみかんの皮を捨てているように見えますが、実はきのこのなのです。欧米ではまさに見た通りのわかりやすい名前がつけられていますが、和名は“**緋色の茶碗のような形のきのこ**”という意味で、茶碗という日本らしいイメージで名づけられています。



みかんの皮を思わせる形状のヒイロチャワンタケ。

山でこんな鮮やかな色のキノコを見つけると思わず見とれてしまいます。美しいものには毒があると言いますが、このきのこは**食用**となります。図鑑によっては食毒不明になっているものもありますが食べられることがわかっています。

初夏～秋に林道脇などの粘土質の裸地に発生することが多いきのこです。

## 庭木の手入れ

### 『11月の手入れ』

11月は、**病虫害の駆除**や**痛んだ枝の処理**を行います。移植をしたい木があれば、樹種によっては可能です。

#### ◎病虫害の駆除

10月に引き続いて、ウドンコ病やスス病の対策を行います。ウドンコ病は葉の表裏がウドンコをまぶしたように白くなっています。殺菌剤を10日おきに3回程度散布しましょう。スス病は葉の表裏が真っ黒になる病気です。アブラムシやカイガラムシの分泌物に菌が着生しますので、そういった虫を駆除しましょう。放っておくと、この菌が葉身にも入るといふ報告があります。黒くなりすぎた枝や幹には、石灰硫黄合剤の10倍液程度を刷毛で塗ると効果があります。褐斑病や黒点病などには、銅水和剤がよく効きます。サクラのテングス病枝は除去しましょう。切り口には殺菌癒合剤を塗布します。

害虫は、気温が下がっても驚くほど活動しています。ミノガやクリケムシ、ブランコケムシなどが活発化します。卵塊を見つけたら除去します。カイガラムシは見つけ次第そぎ落します。テッポウムシ害は、幹や地際に木屑が出ていないかよく観察し、木屑があれば粉が出ている穴に、殺虫剤の濃い液を注入します。サクラではコスカシバ害により幹からヤニを出していますので、ヤニの近くの表皮をはいで、同様の処置をしましょう。

#### ◎傷んだ枝等の処理

剪定は、枯れ枝や枯葉の処置をします。マツのモミアゲも適期です。ただ、大きな剪定は避けず。落葉樹を除き、強度の剪定は寒さのため枯れることがあります。針葉樹も古木の大きい刈込みは注意しましょう。花物は樹種によって切り方が異なりますが、ウメなどは、1月頃に花芽がはっきりしてから、剪定するほうが無難です。

# 樹のあれこれ

メグスリノキ カエデ科カエデ属

11月になると、県北地域から紅葉のたよりが届き始めます。紅葉の名所でその主役を担っているのは、カエデの仲間が多いです。県内では、イロハモミジ、オオモミジ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、コハウチワカエデなどが多く見られます。カエデの特徴は葉が掌状に切れ込んでいること、とされている方もいるかもしれませんが、実は切れ込みのない樹種もあります。①葉が対生につく、②果実は翼果でプロペラ式の果実をつける、が大きな特徴です。

メグスリノキは紅葉がとても綺麗で、植物に興味のある方ならご存知かと思います。和名の由来にもなっていますが、樹皮や葉を煎じた汁で目を洗うと、かすみ目や疲れ目などの眼病に効果があると言われ、江戸時代以前から使われていました。当時、京都や北近江(滋賀県)、播磨(兵庫県)などでは、眼病の特効薬として評判になったという記録があり、司馬遼太郎の「播磨灘物語」では、戦国時代の名将:黒田如水(官兵衛)の祖父重隆が、メグスリノキで目薬を作り、黒田家の礎を築く財をなしたと記されています。一説によると、千里先まで見えるようになることから「千里眼の木」とも呼ばれるようになり、別名:チョウジャノキは、3枚の小葉を蝶が舞う姿に例えた「蝶々の木」が訛ったとされています。

その他、二日酔いなど肝臓にも効果があるとして、薬木として重宝されていたようで、肝機能を活性化する働きがあるという報告もあります。一見、肝臓と目は関係がなさそうですが、漢方では「肝気は目に通ず、肝和すれば目よく五色を弁ず」(肝臓の働きがよくなると目もよくなる)という考え方があるそうです。学名は *Acer nikoense Maxim.* で Acer:ラテン語のカエデ属、nikoense:日光産のという意味で、ロシアの植物学者マキシモウィッチが日本を訪れた際に各地で植物採取を行い、日本人の助手が日光でこの植物を採取したことによるそうです。



メグスリノキ 葉と果実



メグスリノキ 紅葉

## 研修会報告

10月17日(日) 『秋のきのこ教室』

講師 きのこアドバイザー 川上 嘉章

最近、最も人気があるのがきのこの研修会で、今回の秋のきのこ教室にも、90名を超える方に参加して頂きました。この日、採集されたきのこは全部で103種類、中には、最近ニュースでも話題になっているニガクリタケやクサウラベニタケなどの毒キノコも持ち寄られていました。



判別され、名前が分かったきのこの写真を1枚1枚撮られる方や、図鑑で確認する子供など、参加者の関心の高さを伺うことができました。

# 研修会・イベント紹介

## 11月5日(金) 秋の植物観察

10:00~12:00 学習室集合

講師 緑化センター職員 正本 良忠

秋の植物を観察します。



昨年の「秋の植物観察」

## 11月6日(土) 藤ヶ丸もみじ狩りハイキング

9:00~13:00 第5駐車場集合

紅葉した藤ヶ丸山(665.4m)を満喫しませんか。(※要予約 先着 50名様)

予約・お問い合わせは、広島市森林公園(082-899-8241)にお願いします。

## 11月7日(日) 秋のクラフト工作

10:00~12:00 学習室

講師 森林インストラクター 宮本 寿美敏 先生

どんぐりなどを使って工作をします。(※要予約 先着 30名様)



昨年の「親子で落ち葉遊び」

## 11月9日(火) 秋の写真教室

10:00~12:00 学習室集合

講師 二科会会友 宗岡 泰昭 先生

紅葉を撮影します。撮影会を行いますので、参加者はカメラをご持参下さい。

## 11月12日(金) 11月の自然探勝

10:00~12:00 管理事務所前集合

講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生

石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。



昨年の「どんぐりクッキング」

## 11月14日(日) 秋の落ち葉遊び

10:00~12:00 学習室

講師 広島市ネイチャーゲームの会 住吉 和子 先生

落ち葉を使って遊ぶ。昨年は、カレンダーを作りました。

## 11月21日(日) 晩秋のきのこ観察会

10:00~12:00 管理事務所前集合

講師 きのこアドバイザー 川上 嘉章

きのこが多く見られる時期も終盤となります。季節のきのこを観察します。

## 11月23日(火・祝) どんぐりクッキング

10:00~12:00 学習室

講師 料理研究家 金本 久子 先生

どんぐりクッキーを作ります。(※要予約 先着 30名様 材料費 200円)



昨年の  
「私の好きな緑化センター展」

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

木の実・木の枝を使った工作展 前月より継続 ~11月17日(水)

私の好きな緑化センター展 11月6日(土)~12月5日(日)

写真愛好家が緑化センター内で撮影した写真を展示します。

### ◎ もみじ祭りの開催

11月3日(水・祝)~23日(火・祝)の間、もみじ祭りを開催いたします。詳しくは、別紙のもみじ祭りチラシをご覧ください。

### ◎ 12月研修会の申込受付について

『クリスマスリース作り(3日)』及び『注連縄作り(23日)』は、11月1日より申込受付開始となります。

### ◎ 秋の緑化写真コンクールの応募受付

ただいま、作品を募集中しています。応募締切は12月3日。詳しくは、管理事務所及びレストハウスで要項を配布していますので、そちらをご覧ください。